

雪と共生する東成瀬“仙人郷”創造プロジェクト

目的

雪はこれまで、村民の暮らしに大きな影響を及ぼすものとして、主に克雪の対象としてきたが、これからは、克雪に加え、村の中核的な拠点であるジュネス栗駒エリアのスポーツツーリズムの推進による交流人口の拡大、さらには雪の冷熱エネルギーを活用した農産物の栽培や特産品の開発を行うなど、雪を地域資源として最大限活用できる親雪、利雪、克雪の取組を一体的に推進することにより、村全体の活性化を図る。

雪と共生する東成瀬“仙人郷”創造プロジェクト

●総事業費 約4億円(交付金額2億円) / ●事業期間 平成25～28年度

村事業群

1. ジュネス栗駒エリアのスポーツツーリズムの推進【親雪】

(1) ジュネス栗駒エリア施設整備事業

- ①ゲレンデ造成とリフト等関連施設の整備
- ②ジュネススノーパークの整備

(2) ジュネス栗駒エリア活性化事業

- ①全県・全国規模の大会開催や合宿の誘致
- ②多様なメニューによるエリアの賑わいづくり
- ③総合型スポーツクラブとの連携や指導者の育成

2. 雪冷熱エネルギーの活用による新たな特産品の開発と販売促進【利雪】

(1) 「ゆき未来づくり研究会」の設立

- ①地域が一体となった推進体制の整備

(2) 雪冷熱利活用実証事業

- ①雪冷熱エネルギーを活用した新たな技術・品目の導入

(3) 雪室施設整備事業

- ①雪室施設による村特産品の貯蔵利用及び販売促進

3. コミュニティの支え合いによる除排雪体制の確立【克雪】

(1) 高齢者世帯等への除排雪体制づくり

- ①安全安心のための見回り隊の組織化
- ②除排雪ボランティア体制の強化

(2) 除排雪作業環境の向上

- ①行政区への小型除雪機の配備
- ②流雪溝の整備

〔県事業群〕

- ① スポーツ競技大会等の開催（関連する合宿誘致含む）支援
- ② 雪冷熱エネルギーの活用に係る連携
- ③ 交流人口拡大と特産品の販路開拓につなげるプロモーションと情報発信など